

**IZUMI**

油圧式圧縮ヘッド **EP-325型**

**取扱説明書**



マクセルイズミ株式会社

このたびは、お買い上げいただきありがとうございました。  
安全で確実な作業をおこなうために、この取扱説明書を十分にお読みください。

## — 目次 —

■安全上の注意	P 1～P 3
■各部の名称	P 4
■仕様	P 4
■使用方法	P 4～P 5
■使用上の注意	P 5
■スリーブ種別ダイス適用表	P 6
■アルミ線用分岐スリーブ適用電線表	P 7
■T型コネクタと電線およびダイスの組合せ	P 8

## ■安全上の注意

- ご使用前に、この「安全上の注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「⚠ 警告」、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「⚠ 注意」と記載しています。  
なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



### 警 告

1. 作業中のダイス部および可動部に触れないでください。
  - はさまれたり、損傷した破片などが飛散する恐れがあります。
2. ヘッド部を人に向けたり、手や顔などを近づけるような使用はしないでください。
  - 破損し、飛散する恐れがあります。
3. 感電に注意してください。
  - 工具は、絶縁仕様ではありません。通電箇所で使用すると感電の恐れがあります。
  - ぬれた手で電源プラグなどに触れないでください。感電の恐れがあります。
4. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - 工具は雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電の恐れがあります。
  - 作業場は、十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の恐れがあります。
5. 指定のダイスや付属品を使用してください。
  - 本取扱説明書および弊社カタログに記載されているダイスや付属品以外のものは、使用しないでください。故障やけがの原因となります。



## 注 意

1. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてから作業をおこなってください。
  - 材料や工具を落としたときなど事故の原因となります。
2. 工具およびダイスなどにひび、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - 破損し、けがの原因となります。
3. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
4. 子供を近づけないでください。
  - 作業員以外、工具に触れさせないでください。けがの恐れがあります。
  - 作業員以外、作業場に近づけないでください。けがの恐れがあります。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
6. きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。作動部などに巻込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの恐れがあります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。作動部などに巻込まれる恐れがあります。
7. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの恐れがあります。



## 注 意

### 8. 工具は、注意深く手入れをしてください。

- ダイスなどの交換は、取扱説明書に従ってください。  
けがの恐れがあります。

### 9. 油断しないで十分注意して作業をおこなってください。

- 工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。軽率な行動をすると、事故やけがの恐れがあります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの恐れがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。  
事故やけがの恐れがあります。

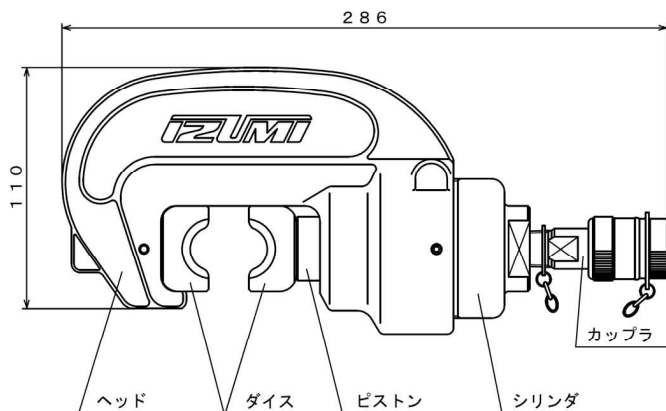
### 10. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 部品破損、取付状態、その他、運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。

### 11. 工具の修理は、販売店または弊社営業所に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具を分解したり、修理、改造はおこなわないでください。異常作動して、けがの恐れがあります。
- 工具の異常に気づいたときは、点検修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

## ■各部の名称



## ■仕 様

最大出力	118kN (ポンプ出力 68.5MPa時)	圧着 可能 範囲	銅線	直線接続	$\phi 5 \sim 250^{\square}$	
				分岐, 重ね合せ	$\phi 5 + \phi 5 \sim 100^{\square} + 125^{\square}$	
質 量	4.1kg		(mm)	アルミ線	直線接続	$19^{\square} \sim 200^{\square}$
					分岐, 重ね合せ	$19^{\square} + 19^{\square} \sim 200^{\square} + 200^{\square}$
適用接続 ポンプ	HP-700A 13号S-1  14E-F R14E-A R14E-F R14E-H		ダイス の種 類	銅裸端子	$8^{\square} \sim 100^{\square}$	
				銅管端子	$22^{\square} \sim 150^{\square}$	
		銅直線用		S5-9.7, S38-14, S60-18, S80-20		
				S100-22, S125-24, S200-27		
		銅分岐用		AC-32(BG), 80, 120 $^{\square}$ , 200		
		アルミ直線用		U4, U5, U8, U10		
アルミ分岐用	AC-32(BG), UT2, UT3, UT4					
付 属 品	ツールボックス		銅裸端子用	$8^{\square}, 14^{\square}, 22^{\square}, 38^{\square}, 60^{\square}, 100^{\square}$		
			銅管端子用	22-13.4, 60-18.4, 100-23, 125-26, 150-29		

注) 1. ダイスは必要に応じ選定の上ご注文ください。

## ■使用方法

- 仕様欄に記載されている適用ポンプの内いずれかを選定し、そのポンプのホースについている雄カップラを工具の雌カップラに接続します。
- 圧着する線およびスリーブまたは端子の種類により適合ダイスを選定し、工具のヘッド・ピストンの双方の取付穴に装着します。
- 作業の内容と目的により個々に規定された作業基準等に従って、スリーブまたは端子をポンプの圧力規制装置が働くまで加圧します。

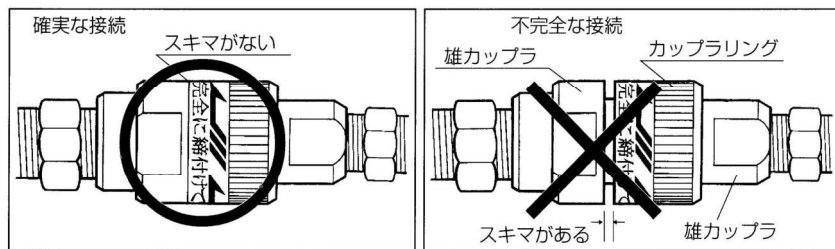
4. 圧力規制装置が働いたら、ポンプの圧力開放バルブを開きピストンを下げ  
 圧着位置を移動させて作業を繰り返します。

〔ピストンを下げるためのバルブ操作は使用するポンプにより異なりますので、  
 ポンプの取扱説明書に従ってください。〕

## ■使用上の注意

1. 工具は絶縁仕様ではありません。通電箇所で使用すると、感電の恐れがあります。  
 2. カップラの接続は完全に行なってください。

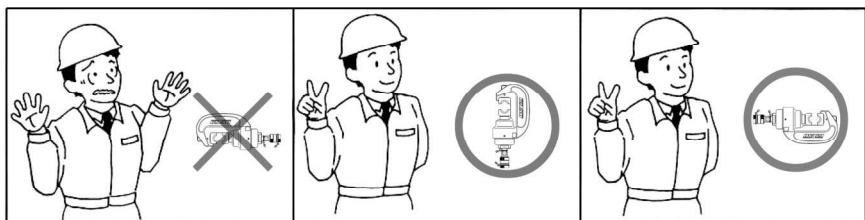
〔接続が不完全な状態で加圧しますと、ピストンが上昇したまま戻らなく  
 なる場合があります。〕



3. ① 接続するポンプのホース内には油圧が作用していない状態になるようあらかじめポンプの圧力開放バルブを開いてください。  
 ② カップラを外す場合はピストンが完全に戻るまで、ポンプのバルブを開放してください。

〔ピストンおよびホースに内圧が作用している場合は、カップリングの  
 ネジ込みが困難となり、接続が不完全になるおそれがあります。〕

4. ダイスとスリーブ等は必ず作業の目的に合ったものを使用してください。  
 5. 防錆のため、格納時には工具およびダイスを油布等で拭いてください。  
 6. 作業する際はヘッドを人のいる方向および自分の方向には絶対に向けないように  
 作業してください。



## ■スリーブ種別ダイス適用表

硬電線用 ジャンパースリーブ 直線スリーブ ～ ダイス適用表	ダイス種別		スリーブ種別		適用電線 サイズ (mm <sup>2</sup> )	圧縮回数 (片側)	
			呼称	外径 (mm)		直線スリーブ	ジャンパースリーブ
	S5-9.7		5	9.7	φ 5.0	※※3	※※2
	※ S5-11			11.0			
	S38-14		38	14.0	38		
	※ S60-16.5		60	16.5	60	※※7	2
	S60-18			18.0			
	※ S80-18		80		80	7	4
	S80-20			20.0			
	※S100-20		100		100		
	S100-22			22.0			
	※S125-22		125		125		
	S125-24			24.0			
	※S150-24		150		150		
	S200-27		200		200		

- 注) 1. ※印は特注品を示す。  
2. ※※印は2条歯形ダイスの場合を示す。

アルミ線用 直線スリーブ ～ ダイス適用表	ダイス種別		スリーブ種別		適用電線サイズ(mm <sup>2</sup> )			
	新	旧	直線スリーブ	ジャンパースリーブ	ACSR	SB・ACSR	HA0	SB・HA0
	※U3		S S B 30A (全面)	J S B 30A				30
	U4	A-19-32	S 25 ( 5 )	J 25	25	25		
			S 32 ( 5 )	J 32	32	32		
			S S B 55A (全面)	J S B 55A				
	U5	A-58	S 58 ( 8 )	J 58	58	58		
			S S B 95A (全面)	J S B 95A				
	※U6		S S B 125A(全面)	J S B 125A				125
	※U7		S S B 95 (全面)	J S B 95		95		
	U8	A-95-120	S 95-120 (全面)	J 95-120	95	120		
	※U9		S 150A (全面)	J 150A			150	
	U10	A-200	S 200A (全面)	J 200A			200	

- 注) 1. ※印は特注品を示す  
2. ( ) 内はスリーブ片側の圧縮回数を示す。





## ■ T型コネクタと電線およびダイスの組合せ

		分岐電線区分 (mm <sup>2</sup> )														
		2 (φ1.6)	3.5 (φ2.0)	5.5 (φ2.6)	8 (φ3.2)	14 (φ4.0)	22 (φ5.0)	30	38	50	60	80	100	125		150
本 線 電 線 区 分  (mm <sup>2</sup> )	325			※(14)		T-365③										標準 ダイス  特注 ダイス
	250			※(8~14)		T-288③		T-365③								
	200	※(22)	※(14~22)			T-240③		T-288③								
	150			※(8~14)		T-190③	T-240③			T-288③						
	125	※ (2~3.5)	※ (3.5)			T-154③										
	100	※ (2~8)				T-122②										
	80					T-98②										
	60	※(2~3.5)				T-76②										
	50					T-60②		T-98②		T-122②						
	38	※(2)			※(8)		T-76②									
	30	※ (5.5~8)	※ (3.5)	※ (2~5.5)		T-44①										
	22 (φ5.0)	T-26①		※ (5.5)	※ (5.5~8)											
	14 (φ4.0)					T-26①	※(14)									
	8 (φ3.2)	※(5.5)				T-20①										
5.5 (φ2.6)	※(8)															

- 注) 1. 太枠内が適用するダイスおよび分岐端子の区分を示します。  
 2. 太枠内の数値T-□はダイスおよび分岐端子の記号を示し、○内の数字は圧着回数を示します。  
 3. ※印は断面積拡大用の補助線の挿入を必要とする組合せを示し、( )内の数字は補助線のサイズを示します。





## マクセルイズミ株式会社

本社	〒399-8721	長野県松本市大字笹賀 3039 番地	☎0263(58)5757(代)	FAX0263(86)1002
東京営業所	〒151-8527	東京都渋谷区元代々木町 30-13	☎03(6891)2111(代)	FAX03(6891)1700
大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場 2-1-10 (CARP 南船場第1ビル 9階)	☎06(7663)0667(代)	FAX06(7663)0668
名古屋営業所	〒465-0034	名古屋市名東区高柳町 207 番地	☎052(775)5388(代)	FAX052(776)2163
福岡営業所	〒812-0008	福岡市博多区東光 2 丁目 22-30	☎092(483)5700(代)	FAX092(483)5704
仙台営業所	〒984-0032	仙台市若林区荒井一丁目 21 番地の 8	☎022(287)1761(代)	FAX022(287)1768